一期一会

「GOD SAVE THE QUEEN」に別れ

九月八日、イギリスのエリザベス女王が九十六年の生涯を閉じられた。

二十五歳と言う若さで女王に即位されて以降、幾多の苦労を乗り越え、今日まで献身的に国民に尽くしてこられその生き様は誰からも愛され、イギリス国民のみならず、世界中から賞賛されていたことは言うまでもない。自らの二十一歳の誕生日にスピーチされた「私の全人生は、たとえそれが長くても短くても、国民の皆さんと英連邦に捧げると誓う」との言葉どおり慈愛と献身を貫き通されたことはただただ頭が下がるばかりで、それを長きに実践されてきたことは奇跡としか形容のしようがない。ロンドンのバッキンガム宮殿を訪れる人々の様子が報道で流される度に、全ての人々から愛されていたことが実感として伝わってくる。

日本においては「天皇の言動は百人の大使の働きに匹敵する」という言い回しがあるくらいに、皇族の役割は特に外交面においては重要なものとされる。イギリスにおいてもまた然り、世界中の人々から尊崇の念を抱かれていたエリザベス女王なら、その与える影響は計り知れぬものであったろう。心よりご冥福をお祈りしたい。

つい先日、日本でも安倍晋三前総理の国葬が営まれた。吉田茂前首相以来となる戦後二例目の国葬となった。それに対する世論は分裂し、

※下に続く

反対デモまで行われる中での実施となった。エリザベス女王の国葬と比べるわけではないが、三千百八十八日という長期政権の舵取りを行ったリーダーとのお別れの儀式としては（国葬としたことの是非は別として）何となく心にわだかまりが残る結果となってしまった。

エリザベス女王没後すぐにチャールズ皇太子が国王（チャールズ三世）に即位され、新生イギリス王室がスタートとなった。人気の面では前女王に遠く及ばないと報じられているチャールズ国王ではあるが、それこそ国民に寄り添う姿勢を示して民衆の信頼と絆を強め、素晴らしい国家の継続に尽力されることを期待してやまない。

七十一年のぶりにイギリス国歌が名実ともに、「GOD SAVE THE KING」（神よ国民を守り給え）となる。

サントピア学園　施設長　碇　直樹

7月の外出　野岳湖

オータムフェス開催!!

今年度も新型コロナウィルスの影響にて太陽の歩みを開催することが出来ず、しずく利用者のみで『オータムフェス』を開催することになりました。ご家族の方々の参加が叶わず、大変申し訳なく思っております。

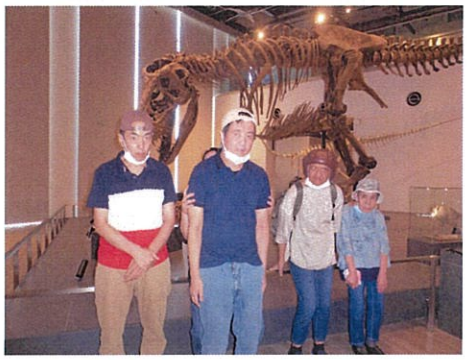
十月七日（金）に、『オータムフェス』と称し、園庭で運動会を開催する予定でしたが、生憎の雨となり、館内にて安全に配慮しながら実施しました。競技はラケットボール運び・台風の目・玉入れの三種目を行い、皆、一生懸命に頑張り、大いに盛り上がりました。昼食はカレー・焼きそば・唐揚げ・アメリカンドッグとボリュームたっぷりで、焼きそばは園長はじめ職員が鉄板で手作りしました。昼食で満腹になりましたが、休憩をはさんで、待ちに待ったおやつタイム!!デザートは別腹!!と言わんばかりに、ケーキやタルト、ワッフルにプリンやソフトクリーム等々、とても豪勢なデザートを皆ペロリと平らげて大満足な様子でした。

コロナウィルスで活動が制限される中、規模を縮小しての開催ではありましたが、この催しを通じて、皆が楽しむ姿や笑顔を見ることが出来、職員一同嬉しく思いました。

行事担当：森　弥生・夫津木　準

行ってきました!!
恐竜博物館!!

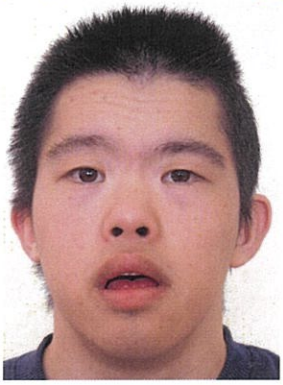
八月の外出は「そうめん流し」を計画していたのですが、コロナ対応に追われ、外出どころではありませんでした。九月、何とか落ち着きを取り戻し、世間も外に出ようという雰囲気の中、「しずく」は全体を四つの班に分けて、野母崎の恐竜博物館に行ってきました。博物館内は物静かで、落ち着いた雰囲気でした。興味を示す方もいれば、恐れおののいている方もいて、反応も様々でした。皆の色々な表情が見れたのは楽しくもありました。ただ、皆さん、食べ物、特におやつの魅力には、全く敵いませんでした。



新メンバー紹介

九月から新メンバーが二名加わりました。百合野力人さんと迫田淳一さんです。戸惑う事もあるかと思いますが、楽しい生活が送れるよう支援していけたらと思います。これから宜しくお願い致します。

迫田淳一さん



百合野力人さん

【退職者のお知らせ】

支援員で、十一月末で永田さんが定年退職となります。

新しい生活がより良いものになりますようお祈り申し上げます。

「在職中は大変お世話になりました」

この度、十一月末日をもちまして定年退職となりました。

十四年間を振り返り思い出すと感慨深いです。楽しかった事、悲しかった事など様々な思い出が蘇ります。仕事を通じて得た貴重な体験を生かし、思い出を大切に、利用者様、ご家族様、職員の皆様とお知り合いになれた事を、私の財産、心の糧として有意義な人生を歩んで参ります。

最後に、皆様の末永いご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

生活支援員　永田りみ子

育友会より、コロナ見舞金を頂きました。この場をお借りし、御礼申し上げます。ありがとうございました。

新スタッフ紹介

五月からお世話になっております渡部友和と申します。利用者様が充実した日々を送れるよう頑張りますので、宜しくお願い致します。

六月中旬より入職しました近藤香菜です。未経験の職種なので日々勉強ですが、利用者様に安心して笑顔溢れる生活を送って頂けるよう努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

八月より事務員として入職しました伊藤阿耶乃です。利用者様との関わりを大切にし、事務としての仕事を精一杯頑張っていきます。よろしくお願い致します。

編集後記

世間では、ロシアのウクライナ侵攻や米ドルの利上げに端を発する円安等々、社会情勢の不安がより一層増しています。学園ではコロナウィルスが猛威を振るい、集団感染が発生し、大変な日々を過ごしましたが、ようやく平穏を取り戻し、何とか発行することが出来ました。少しでも利用者や支援員の様子等を知っていただけるよう紙面の充実を図れればと思っていますので、ご意見・ご要望等お待ちしています。

（合屋・江口・相川）

発行：社会福祉人あいわ会
障害者支援施設サントピア学園
TEL：０９５－８３９－２４００
FAX：０９５－８３７－１５００
発行日：令和４年１０月１４日